

# おびひろ市議会だより

No. **44**  
 令和5年  
 12月定例会号

おびひろ動物園の馬ふれあい舎

## 目次

定例会の概要など	1
一般質問	2~4
議案審査特別委員会の審査概要など	4
常任委員会等の動き、都市行政調査報告	5
市民意見交換会の開催報告など	6

## 数字でみる帯広市議会

議員数 **29**人

男性 **23**人  
 女性 **6**人

平均年齢 **58.5**歳

20代 1人	60代 10人
30代 2人	70代 5人
40代 3人	80代 1人
50代 7人	※令和6年3月1日時点

審議した議案 **118**件

審議した回数 延べ**56**回

審議した時間 延べ**173**時間

※令和5年分  
 ※定例会・臨時会・特別委員会の開催日数と時間

## 提案された補正予算の内容（一部抜粋）

### 学校へのエアコンの設置

健康で安全な教育環境の確保のため、小学校1・2年生の普通教室などにエアコンを設置



### 障害者相談支援事業の消費税相当額を負担

国から基幹相談支援センター事業と相談支援事業の委託料が課税対象事業であると取扱いが示されたことに伴う、消費税相当額の負担

### 価格高騰を受けて給付金を支給

電力、ガス、食料品などの価格高騰により負担が増加した住民税非課税世帯などを支援するため、給付金を支給



### 水道料金の基本料金の免除

水道料金の基本料金を2か月間免除（令和6年1月1日～2月29日検針分）



（主な議論の内容は4ページに掲載）

### 決議案 第1号

## ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

### 要旨

- 人道目的の即時停戦 および 人質の即時解放
- 国際法、国際人権法の順守
- ガザ地区における人道危機を改善するための、水や食料、燃料、医薬品をはじめとする人道支援物資の供給
- 戦闘地域の不拡大



全文はこちら↑

## 定例会の概要

令和5年第5回定例会を12月1日から12月18日までの18日間の会期で開催し、令和5年度各会計補正予算、条例の改正などを審議したほか、23人の議員が一般質問を行いました。

—国会などへ意見書を提出—

1件の意見書を全会一致で可決し、国会や関係行政庁へ提出しました。（P4参照）



—決議案を全会一致で可決—

イスラエルとハマスの紛争を受け、ガザ地区における平和の早期実現を求める決議案が提出され、12月18日に全会一致で可決しました。（左図参照）

# 物価高騰対策関連予算などを審議・可決



佐々木直美 議員 (立憲)



### 地域共生社会について

**質** 様々な福祉ニーズに対応するため、福祉サービスの縦割りをなくし、包括的に支援する体制の構築を促すことを目的とした、「重層的支援体制整備事業」が国でスタートしているが、導入の検討は、

**答** 複雑化・複合化した課題を抱えた世帯への相談対応は、制度の縦割りの中で解決が難しく、包括的な支援が必要と捉えており、重層的支援体制整備事業の導入を検討しているところ。

**提言** 制度のはざまといった問題も顕在化している。民間団体と連携して強いネットワークをつくること、相談体制の強化やアウトリーチの推進、制度のはざまを埋めることにもつながると考える。



大平 亮介 議員 (共産)



### 教育費の学校間格差の解消を物価高による授業への影響は

**質** 同じ公立中学校であるにも関わらず保護者負担には差がある。制服、ジャージ、ハーフパンツなど、学校指定品の購入額の学校間格差の実態は。

**答** 令和5年度における制服と学校指定のジャージ、ハーフパンツの購入額の最少数額と最大額の差は男子が2.3倍、女子が1.5倍となっている。

**質** 貸し切りのバス運賃の高騰を受け、バス移動を伴う授業では、授業回数を減らすなどの影響が出ているという報道もある。物価高による教育活動への影響は。

**答** 学校独自で行うバス学習などの移動費用が値上がりしている状況。今後の対応について協議し、検討しているところ。



有城 正憲 議員 (市政)



### 農業における少子高齢化の影響は！大空地区の方向性と学校跡地の活用は

**質** 最近少子・高齢化と言われているが、本市の農業にどのような影響があり、その影響を抑えるためどのように対応し、農業を振興していくのか。

**答** 担い手育成やスマート農業推進を通じた省力化・効率化などに取り組み、経営改善を促進してきた。生産者などと連携し、農畜産物の安定的な生産に取り組み、地域農業のさらなる発展につなげる。

**質** 旧大空小学校跡地に関する公募型プロポーザルの今後のスケジュールは。



大林 愛慶 議員 (立憲)



### 転出超過！若者が「まちづくり」へ参加できる仕掛けづくりを

**質** アフターコロナにおいて、企業活動や市民生活の変化をどう捉えているか。

**答** オンラインでの活動の拡大により、地理的な制約が緩和されるなどの変化が生じている。また、感染症予防対策を意識した日常生活が5類感染症に移行した後も続くなど、健康意識が高まっていると認識している。

**質** 10月末時点での社会動態の状況は。

**答** 令和2年から令和4年にかけて人口が転入超過で推移していたが、直近では転出超過となっている。

**提言** 若者の人口比率が高い今のうちに魅力ある仕事づくりや、若者がまちづくりに参加できる仕掛けづくりの検討を。



石井 宏治 議員 (自・無)



### 高等教育整備基金の今後について

**質** 高等教育整備基金廃止に伴う財源の活用について商工会議所に対して丁寧な対応になっていないように感じている。

**答** 予算を伴う新規の事業は、事業の目的や効果、行政が実施する必要性や類似事業とのバランス、他都市の実施状況、具体的な事業スキームや事業の継続可能性、さらには必要となる予算の規模や財源構成などについて検討し、議会議論を経て議決され事業化される。提案のあった事業についても同様のステップを今後踏んでいく必要があると認識している。



今岡 謙史 議員 (自・無)



### ICTを活用したまちづくりと住民サービスについて

**質** 自動運転車両による除排雪への認識は。

**答** 自動運転の実用化がすすむことでオペレーターの高齢化や労働人口の減少など担い手不足の問題を補う可能性がある。

**質** P H R (個人の健康情報) を活用するため、独居されている方や高齢者などで希望される方に対しスマートウォッチやスマートフォンへの貸与はできないか。

**答** 高齢者、とりわけひとり暮らしの方には、対人サービスの活用や地域における見守りネットワークの果たす役割が社会的孤立を防ぐために重要であり、今後解決に向け、総合的に考えていく。



椎名 成 議員 (公明)



### 子どもたち一人ひとりの声に耳を傾けた不登校支援の実施を

**質** 起立性調節障害のお子さんで昼間に身動きが取れないといった相談がある。いろんなチャンネルで対応していくことが求められると考えるが、夜間対応の見解や相談支援の今後の展開は。

**答** 現在のところ夜間の対応については難しい判断となる。今後、不登校に関わる教育相談の機会を広げることが、大変重要な視点であると考えている。相談窓口のあり方についても検討を重ね、他都市の対応も調査しながら、少しでも不登校児童・生徒や保護者が安心して相談できる場を設置できるようにすすめたい。

**提言** 夜間や土日などに対応できるように体制づくりを求める。



岡坂 忠志 議員 (立憲)



### 社会的・セクシャルマイノリティの尊重を

**質** 多様性を認め合う社会の実現に向けた市の考えは。

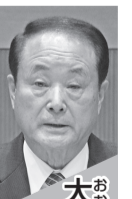
**答** 差別・偏見がなく、互いを受け入れ、認め合える地域社会の実現に向け、継続的に取り組んでいく。

**質** パートナリシップ制度の市民理解を深める取組みは。

**答** 多様な性に対する理解を深め、一人ひとりを尊重するまちづくりに賛同してくれる事業者と共にすすめるため、L G B T ステッカーの作成などを行った。

**質** パートナリシップ制度に関する自治体間連携を拡大する考えは。

**答** 利用者の利便性を考慮し、今後も導入自治体との連携について協議していく。



大竹口武光 議員 (公明)



### 令和5年度から令和7年度まで全小・中学校へのエアコン設置が決定

**質** 普通教室へのエアコン設置について、一般質問や委員会質問などで何度も設置に向けた要望を行ってきた。空調設備、エアコン設置の考え方および今後のスケジュールについて伺う。

**答** 市内小・中学校の普通教室などへのエアコンの設置については、令和5年度から令和7年度までの3カ年での設置を想定。令和6年夏までに、小学校の1、2年生の通常学級および一部の特別支援学級に設置する。使用開始については、小学校1、2年生が令和6年夏から、小学校3年生から6年生が令和7年夏から、中学生が令和8年夏からを予定。

**提言** 今後も万全な熱中症対策を求める。



谷保 寿彦 議員 (自・無)



### 新たな観光振興に給食肉じゃがを！

**質** 児童生徒へのアンケートの中でずっと人気メニューNo.1である給食肉じゃがを観光客へ売り出す考えは。

**答** 肉じゃがに限らず、地域の人気グルメの動向を見極めながら、情報発信など側面的な支援を行う。

**質** コト消費型観光として、養豚飼育体験しじゃがいも収穫調理体験という一連の観光コンテンツとする考えは。

**答** ガストロノミーリズムなどの取り組みを推進することで、体験滞在型観光の高付加価値化をすすめる、持続可能な観光地づくりをすすめる考え。

**提言** 懐かしさ、気軽に食べられる料理こそがソウルフード。観光振興に活用を。

※議員名の下にQRコードについては、スマートフォンなどの専用アプリで読み取ると、各議員の質問の映像がご覧いただけます。(録画映像は一定の期間をもって配信を終了しています。)



佐々木 勇一 (市 政) 議員



### ヒグマ対策の強化を求める！

**質** ヒグマについては本市だけではなく道内全域で目撃件数や捕獲頭数が増加

**答** ヒグマ対策の強化に向けた新たな動きは、道では、国に対してクマを指定管理

鳥獣として追加し、クマの出没対策にかかる財政的・技術的な新たな支援制度を設けるように要望しているほか、残雪時の捕獲促進事業である春季管理捕獲に参加する市町村に対し、報酬など事業実施に対する経費を支援する補正予算を提出

**提言** 冬期間に行動するヒグマは「穴持たず」とも言われ、食物を探して広範囲に活動する個体の出没も懸念される。警察や猟友会と連携し、今後も関係団体との情報共有を図り対策にあたってほしい。



菊地 ルツ (立 憲) 議員



### 子どもまんなか社会をめざす取組みは？多様な子どもたちに安心を

**質** 国から子ども家庭センター設置を求める考えが示された。市の考えは。

**答** 可能な限り早い時期の設置に向けて対応していきたい。

**質** 子どもに関する各種申請や相談窓口が分散していることに対しての認識は。

**答** 施設間の移動が必要な場合には、負担をかける場合もあるものと認識。

**提言** 一つの館やフロアにあるというのが理想的。改善を求める。

**質** 不登校の原因の一つとして、香りの害があるという。アンケートが必要では。

**答** アンケートの有効性について、他都市の状況を調査研究していきたい。

**提言** アンケートの実施を強く求める。



三浦 勇利 (友 愛) 議員



### 新型コロナウイルスワクチン接種後の健康被害に関する市の対応について

**質** ワクチン接種後に健康被害が生じた場合、市の相談体制は。

**答** 健康相談として個別に相談を受け付けており、内容に応じて医療機関などへの受診勧奨や副反応に関する情報提供を行うなど、副反応に対する不安の解消に資するよう対応している。

**質** 予防接種健康被害救済制度について、市のホームページや広報などで制度に関する十分な周知がされているのか伺う。

**答** 市ホームページのほか、接種券に同封の説明書にて、接種対象者に個別周知している。



杉野 智美 (共 産) 議員



### 市民のしあわせを実現する予算編成を

**質** 医療や介護に安心感が持てれば雇用や地域経済などに好循環を生む。市民のしあわせを実現する予算編成への見解は。

**答** 地域の声を聞きながら一人ひとりの安心につながるように編成に取り組む。

**質** 土地利用規制法施行後のスケジュールと対象となる世帯数は。

**答** 12月11日告示、令和6年1月15日から施行。市は広報などで周知。対象土地数は把握できる範囲で18600筆ほど。

**質** 自衛隊への名簿提供に対する見解は。

**答** 名簿提供を望まない人への配慮として除外申請方法の多様化などを検討中。

**提言** 子ども本人の意思を聞かず自衛隊への名簿提供は行うべきではない。



鬼塚 英喜 (自・無) 議員



### 市危機管理専門部署へ移行後の教訓障がいのある人への支援サービス

**質** 市の危機対策課に移行し4年が経過しようとしている。これまでの成果は。

**答** マネジメント体制の強化を図り、非常時の迅速な意思決定や、庁内はもとより、関係機関との円滑な連携につなげた。

**提言** 市民のため、市長の判断基準をしっかりと整える危機管理専門部署として、各種行動基準に関する知識の確立と持続可能な組織体制と人材確保を期待する。

**質** 障がいのある人の外出のハードルを下げることもなる障がい者手帳アプリを市として利用登録する考えは。



西本 嘉伸 (市 政) 議員



### 居場所づくりは重要なキーワード環境保全型農業の推進に向けて

**質** 一連の商業施設撤退の状況下で、中高生にとつての中心市街地をどのように捉えているか。

**答** 若者が中心市街地を訪れる機会が増えることは、まちの活力を高め、地域の愛着にもつながる。事業者による魅力の創出はもとより、若者がかわる機会をつくるのが重要。

**質** 有機農業や低農薬農法を導入する農業者の戸数と耕作面積の推移、今後の見通しは。

**答** 令和4年度は65戸686haで、取り組み農業者や面積が増加傾向。肥料価格の高止まりや化学肥料使用量低減への意識により今後ある程度増加すると推測。



柳田 健太郎 (立 憲) 議員



### 安心・安全な学校給食の提供を

**質** 安心・安全な学校給食を提供するための考えは。

**答** 地産地消の取組みを積極的にすすめてきたほか、徹底した衛生管理の下、アレルギーへの対応にも取り組んでいる。

**質** 給食費改定について、学校給食センター運営委員会への諮問に至った経緯は。

**答** 近年の物価高騰により、学校給食で使用する食材価格も上昇している。様々な創意工夫で経費を抑える努力をしたが、現行の給食費では安心・安全で栄養バランスの取れた学校給食を提供することはもとより、学校給食が有する多様な役割を安定的に果たしていく事が厳しい状況となっており諮問した。



林 佳奈子 (自・無) 議員



### 空き家対策条例で中心市街地活性化十勝川河川敷にゴルフ練習場を

**質** 市の空き家対策条例制定の考えは。

**答** 制定の考えは持っていないが、社会情勢の変化などを踏まえ、情報収集する。

**提言** 条例制定によって、例えば中心市街地を特別区域に制定すると店舗流通の促進となる。条例制定の推進を要望する。

**質** 台風で十勝川河川敷ゴルフ場が浸水、再開せず閉鎖となった。跡地の状況は。

**答** 検討をすすめてきたが、様々な制約があり、利活用の提示には至っていない。

**質** ゴルフ練習場に再利用する考えは。

**答** 市では再度設置の考えはない。民間による設置はハードルがあり、相談などがあつた場合は様々な制約などを説明の上、対応を考えていくこととなる。



工藤 進 (公 明) 議員



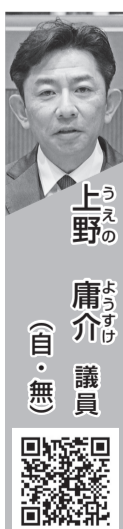
### 町内会員数減少の対策と高齢単身者の対応

**質** 町内会会員数の減少は大きな問題である。市による対策は。

**答** 今年度、帯広市町内会連合会において町内会のあり方検討会を設置し、全国の先進事例の検証などを行っており、それを踏まえ、来年度以降、具体的な対策について検討していきたい。

**質** 市の在宅援助サービスの除雪が対応できなくなったと聞いているが、状況は。

**答** シルバー人材センターから、会員数の減少により安定したサービス提供が困難になったという相談を受け、事業の中止に至った。希望する利用者には、個別にボランティアにつなげ、引き続き除雪支援を受けられるよう調整をしてきた。



上野 庸介 (自・無) 議員



### 「奨学金返還支援制度」を創設し、若者人材確保に取り組みを

**質** 札幌、旭川、苫小牧など道内主要都市が導入している「奨学金返還支援制度」を帯広市はなぜ導入できないのか。

**答** 導入について検討を行った上で、企業経営者などで構成される会議で議論しており、課題を整理していく必要がある。

**質** 奨学金については議会でも会派を問わず取り上げている。こうした議会議論は企業経営者たちに届いているのか。

**答** そうした内容の伝達は掌握していないが、制度について検討し、企業経営者たちと議論をしてきたということ。制度の有用性を認識しているということ。

**提言** ぜひとも実現に向けて取り組んでいただきたい。



大塚 徹 市長  
(市政)

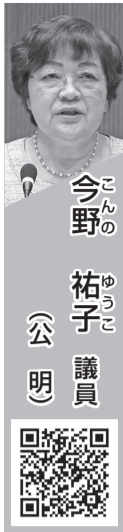


市中心市街地空洞化と近隣町周辺のにぎわいづくり

**質** 商店街バレーが、残念ながら帯広ではなく、近隣の町に出来上がりつつあるように感じる。この傾向を市はどのように見ているのか。

**答** 帯広市を中心として音更町を含む近隣町村の地域に全国的にも人気の高い商業施設が来店されることは、地域に対する評価の現れであり、地域経済全体にとってプラスに働くものと考えている。

**提言** 次期市中心市街地活性化基本計画に向けて、「高齢者を中心街に」の発想ではなく、若者の居住をすすめる施策を盛り込むべきと考えており、市中心市街地に無料の若者の住民ゾーンをつくるべき。



今野 祐子 議員  
(公明)



子宮頸がんワクチン接種の現状と取組みについて

**質** 子宮頸がんにおいては、HPVワクチンの接種により、90%以上の感染予防効果があると言われていたが、接種率は13歳女性の人口は633人で、このうち令和4年度末までに1回目の接種を完了したのは39名で、接種率は6.2%。

**質** キャッチアップ接種対象者(平成9年4月2日から平成19年4月1日生まれの女性)への接種最終期限通知の考えは、既に個別にお知らせを郵送しており、今後は広報おびひろなどでの周知を検討。

**答** 男性の接種費用を助成する考えは、他自治体の事例や国の動きを踏まえ、予防効果などを総合的に勘案し、必要な対策に取り組んでいきたい。



播磨 和宏 議員  
(共産)



市民が関わりやすく、一緒に取り組んでいける環境対策を

**質** ゼロカーボン推進計画原案で排出量の推計方法が変わったことによる影響は、2030年度までに削減しなければならぬ温室効果ガス排出量も増え、取り組みを進めていかなければならない。

**質** 断熱化をすすめていくことが燃料代を抑え、家計面でも暮らしを支え、環境対策にもつながってくる。住まいの改修助成金制度の活用を広げていく考えは、多くの市民が利用しやすい制度となるよう考えていく。

**質** 公共交通への市民の意見・要望を受ける要望先を明確化する考えは、市ホームページに表記するほか、おびひろバスマップにも追記をする。

意見書案第10号

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

要旨

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。



全文はこちら↑

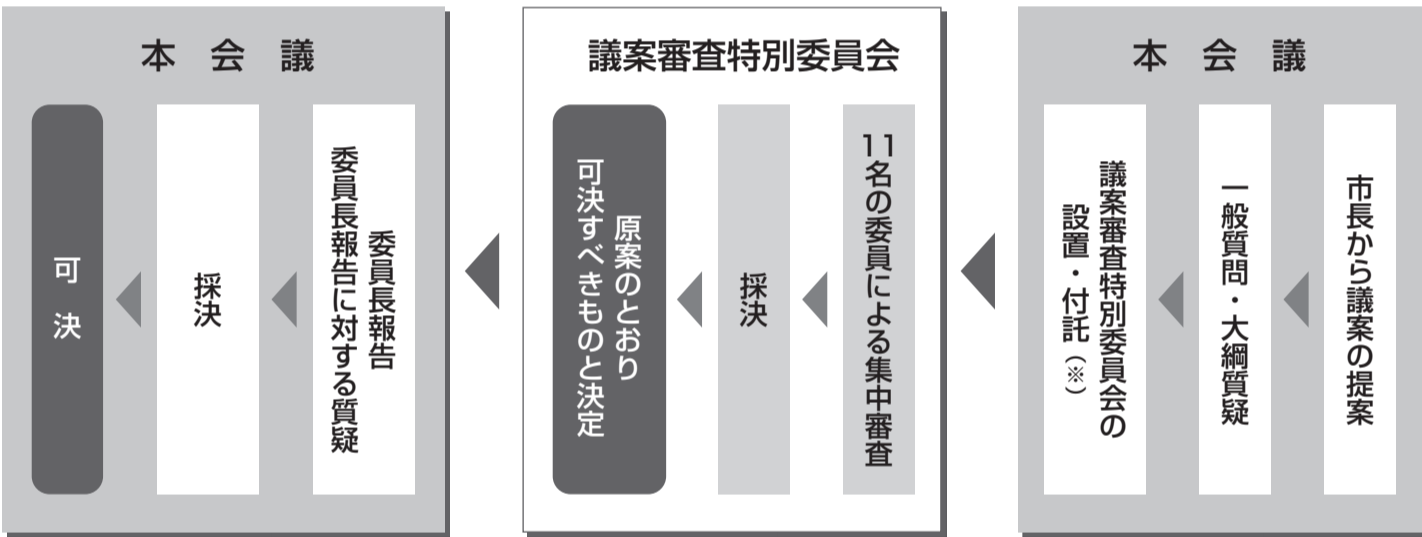
令和5年度補正予算などに対する主な議論

【議案審査特別委員会】

市長から提案された補正予算などの議案は、議案審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

委員会における主な議論の概要をお伝えします。

【審議の流れ】



住民税のクレジットカード決済

令和6年度より、個人住民税普通徴収の納付方法にクレジットカード決済が加わるなど、納付者の利便性が向上することだが、クレジットカード決済の利用者には、LINE利用者が多いと考えられるため、市の公式LINEを活用して周知を図るべき。



地域活動支援センター食材費支援

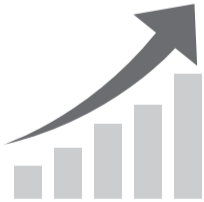
北海道が実施する食材価格高騰に係る支援の対象外となった地域活動支援センターの食材費の支援を行うこととされているが、物価高騰などの影響もあり、事業所の運営は厳しいものがあることから、市単独での継続的な支援を検討するべき。

価格高騰重点支援給付金

電力、ガス、食料品などの価格高騰により負担が増加した住民税非課税世帯へ一世帯あたり7万円の給付金を1月中旬から支給することであるが、年内の給付を実施する市町村もあることから、迅速な給付に向けしっかりと準備をすすめるべき。



給付金についてはこちら↑



小中学校へのエアコン設置

提案された小中学校エアコン設置関連事業

- 全小学校1・2年生の普通教室などにエアコンを設置
- 全小中学校の普通教室などへのエアコン設置に向けた実施設計
- スポットクーラーなどの購入費用を支援



○ 小学校1・2年生は令和6年夏、小学校3年生から6年生は令和7年夏、中学生は令和8年夏からの使用開始を想定し、エアコンの整備をすすめること。夏休み期間中や土日など、授業への影響が少ない時期に作業を行うとともに、計画に遅れが出ないように速やかな整備に努めるべき。

○ エアコンが設置されるまでの臨時的措置としてスポットクーラーを各教室に導入することであるが、冷風を送り出す際に発生する排気熱が屋内にこもり、かえって室温が上がる懸念がある。排気熱を屋外に排出できるように窓側に配置するなど、効果が十分に発揮されるよう努めるべき。

ちょっと補足

市内の小中学校数 39校  
※大空学園義務教育学校含む

さらに補足

実施設計とは、エアコン設置工事などのために事前に調査を行い、設計図などを作成すること

※ 付託：本会議での議決の前に、議案などの検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。

常任委員会等の動き 11月1日

総務委員会

重点調査項目

自治体経営の推進  
防災・減災

理事者報告

11月 今後の基金のあり方について(案)  
／帯広圏デジタル推進構想(原案)

質問通告

11月 期日前投票所

厚生委員会

重点調査項目

保健衛生及び子育て支援  
高齢者・障害者福祉及び介護保険  
市民協働及び男女共同参画

理事者報告

11月 第三期けんこう帯広21(原案)  
／(仮称)帯広市生きるを支える推進計  
画(原案)／第九期帯広市高齢者保健福  
祉計画・介護保険事業計画(原案)／(仮  
称)帯広市障害者共生まちづくりプラン  
(原案)

質問通告

11月 出産育児一時金／民生委員・児  
童委員の欠員状況と対策／生活保護の葬  
祭扶助

経済文教委員会

重点調査項目

農林業及び畜産業の振興  
地元企業の活性化及び観光振興  
学校教育

理事者報告

11月 令和5年度教育に関する事務の  
管理及び執行状況の点検・評価に関する  
報告書(令和4年度対象)／学校給食費  
の改定に係る諮問

質問通告

11月 帯広市森林整備計画(骨子案)  
／旧長崎屋駐車場利用終了後の帯広市民  
文化ホール駐車場の対応

11月 令和5年度教育に関する事務の  
管理及び執行状況の点検・評価に関する  
報告書(令和4年度対象)／学校給食費  
の改定に係る諮問

実地調査

11月16日におびひろふるさと給食につ  
いて調査を行いました。



建設委員会

重点調査項目

都市環境の維持・保  
全、下水道の維持管理

理事者報告

11月 帯広市住生活基本計画(原案)  
／帯広市空家等対策計画(原案)／(仮  
称)帯広市ゼロカーボン推進計画(原案)  
／新中間処理施設の整備検討状況の報告

質問通告

11月 上下水道料金収納業務等の包括  
委託の実施

質問通告

11月 公共交通を活用したまちの「ツボ」  
の取組みと観光誘客

議会運営委員会

協議事項

議会運営検討項目／議会基本条例に基  
づく取組み／令和5年第5回定例会の運  
営

都市行政調査報告

先進自治体の事例を学び、今後の委員会調査の参考とするために行った調査の概要をお知らせします。調査報告書は、ホームページまたは市庁舎議会棟2階図書室で閲覧することができます。



総務委員会

調査日	調査先	調査事項
11月7日	熊本県熊本市	熊本地震の被害状況及び震災復興計画
	熊本県	熊本県防災センター
11月8日	長崎県佐世保市	行財政改革の取組み
11月9日	大分県大分市	自治体DXの取組み

播磨 和宏 委員長所感

熊本市・熊本県では、熊本地震からの復興についての調査と、今後の災害対応として県防災センターの視察を行いました。災害対応での課題や期限付きの復興担当課を中心に、市民に寄り添った復興で、暮らし再建に力を尽くした取組みを学びました。佐世保市では、「させばルール」をはじめとした行政効率化について、スリム化からスマート化への業務改善手段の説明を受けました。さらに大分市では自治体DXの取組みについて、地元企業の協力のもと、文化財デジタルアーカイブなど、デジタル化による住民の暮らしへの影響の調査を行いました。今回の調査を生かして、住民生活向上のため今後の市への提案や議論を重ねていきます。



厚生委員会

調査日	調査先	調査事項
10月31日	大阪府堺市	介護予防「あ・し・た」プロジェクト
11月 1日	山口県下関市	妊娠出産子育て支援事業 新ショート・トワイライトステイ事業
	福岡県福岡市	共創による地域コミュニティ活性化条例

椎名 成 委員長所感

10月30日～11月2日の日程で、大阪府堺市、山口県下関市、福岡県福岡市へ都市行政調査に行ってきました。堺市では「介護予防『あ・し・た』プロジェクト」について、下関市では「妊娠出産子育て支援事業及び新ショート・トワイライトステイ事業」について、福岡市では、町内会の課題解決に向けた「共創による地域コミュニティ活性化条例」について、それぞれ現地にて質疑・意見交換をし、今後の厚生委員会における議論の参考に調査を行いました。特に、福岡市においては、地域コミュニティの大切さをみんなで共有するために条例を制定したということで、その中身について詳しく知ることができ、帯広市の町内会の課題の議論の参考となりました。



経済文教委員会

調査日	調査先	調査事項
11月20日	大阪府吹田市	インクルーシブ教育／ICT教育
11月21日	鹿児島県	畜産振興／全国和牛能力共進会
	福岡県久留米市	久留米まち旅博覧会

林 佳奈子 委員長所感

吹田市は、すべての子どもが共に学ぶインクルーシブ教育を実践。産学官が連携し、担い手育成事業や切れ目のない支援に取り組んでおり、誰一人取り残すことのないデジタル教育や教職員研修も参考にすべき点でした。鹿児島県では全国和牛能力共進会が開催され、販路拡大や地域への経済効果もあったことから、帯広・十勝で開催される同大会の参考にすべき点が多かったです。特に準備段階の課題は今後の議論に生かしていきます。久留米市では、市民協働で観光コンテンツを開発し、魅力発信やプロモーションに取り組んでおりました。また、学会開催やMICE誘致などは効果も高く、地域活性化や交流人口増加のため見習う点が多かったです。



建設委員会

調査日	調査先	調査事項
10月18日	北海道旭川市	除排雪先進都市
10月30日	富山県富山市	公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり
	富山県黒部市	下水道バイオマスエネルギー利活用
10月31日	山梨県甲斐市	ゼロカーボンロード

上野 庸介 委員長所感

建設委員会は旭川市(除排雪先進都市)、富山市(LRTなども含む公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり)、黒部市(下水道におけるバイオマスエネルギーの利活用)、甲斐市(脱炭素の取組みとしてのゼロカーボンロード)を視察させていただきました。雪国における除排雪や全国的な課題である公共交通の維持管理、環境問題において自治体が今後取り組むことが必須となるエネルギー施策やゼロカーボンと有意義な視察となりました。なお、富山市と甲斐市では、事業・施策の分野は違っても、それぞれの地域(お団子)を各施策(串)でつなぐ、「串とお団子」の視点が共通項でした。帯広市においても、この視点は今後の参考になると感じた次第です。



# 議会トピックス 市民意見交換会

を行いました。ご意見の要旨(一部抜粋)を掲載します。

令和5年11月11日にとかちプラザにおいて、常任委員会ごとの4つの班に分かれ、テーマ別意見交換会を開催しました。なお、ホームページでも実施結果を掲載していますので、ご覧ください。



総務  
委員会

## 防災・減災 について



- おびひろ防災ガイドをコミュニティ施設や小中学校などの公共施設に設置してはどうか。
- 市内の指定避難所を確認しやすいポスター版の防災マップを作成してほしい。
- ドローンやAIを活用した災害対応に取り組んではどうか。



厚生  
委員会

## 町内会 について



- 市としても、町内に住むのであれば町内会と関わりを持ってほしいというような働きかけを行っても良いのではないかと。
- 市職員で町内会に加入していない人がいるが、市職員でありながら町内会に加入しないことに非常に不信感がある。
- 人と人の接点を持つことが町内会活動の根っこだと思うので、そういった交流なくして、いろんな話がでてうまくいかないと思う。



経済文教  
委員会

## 学校給食 について



- 学校給食で使われている食材の種類が少ないことや冷凍食品が使われていることに不満を感じる。
- 義務教育の一環として学校給食を無償化してほしい。
- 地元食材の活用やアレルギー対応などの工夫や努力でおいしい学校給食が提供されていると思う。今後も継続をお願いしたい。



建設  
委員会

## 除雪 について



- 行政と市民は協働関係にあるということも含めて、市や議員はもっと周知してほしい。
- 他都市においては多くの予算を確保したり、何cm積もったら排雪を行うといった基準を設けているところもあるが帯広市においてはどうか。
- 雪国で暮らしていく上で市民が覚悟しなくてはいけないことなどの教育も必要。



## 議会を傍聴してみませんか？

……… 傍聴に関して よくあるお問い合わせまとめました ……



議会の日程はどこでわかるの？

ホームページ

HPなどで公開しています！



傍聴するのに申し込みは必要なの？

申込不要です！

直接 傍聴席へお越しください



小さい子どもがいるから行けない

託児サービスがあります！

※要事前申込



行けないけど議論は聞きたい

ホームページ

HPで生放映しています！

2023年は、私にとって激動の一年となりましたが、中でも特別な出来事は、第三子が誕生したことです。三度目の立ち合い出産でしたが、改めて生命誕生の奇跡、そして喜びを実感しました。

未婚化、晩婚化により少子化が加速している昨今、この素晴らしい国日本を残していくためにも、これからの未来を担う子どもたちに、生命誕生の神秘や命の尊さについて学んでもらうことが大切であり、我が子にも伝えていきたいです。

(編集委員 三浦 勇利)

## 編集後記

## ～次回定例会 開催予定日のお知らせ～

	開催日時	会議内容
2月	28日(初日)	13時～ 本会議
	29日	10時～ 議案審査特別委員会
3月	5日、6日	10時～ 代表質問
	7日、8日、11日、12日 ※7日は予備日	10時～ 一般質問
	13日～15日、18日、19日、21日、22日	10時～ 予算審査特別委員会
	26日(最終日)	13時～ 本会議

※日程は予定であり、変更することがあります。

○ 開催中は会議を傍聴できるほか、市議会ホームページで議会の生放映や過去の録画放映もご覧いただけます。



市議会  
ホームページ



インターネット  
映像配信